

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

【全所共通取組事項】

○ハローワーク利用者を増やすため、SNS（HP、LINE、インスタグラム等）を活用し、就職支援メニューの利用促進や面接会、セミナー等の各種イベント情報の周知を行い、相談件数、紹介件数及び就職件数に結びつける取組を実施しました。結果的には、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、前年度比で来所者数の減少となりました。

○新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、ハローワークの利用促進を図るため、スマホによる『かんたん求人検索』の導入や、従来からの電話、窓口による相談予約に加え、『職業相談予約受付システム』を導入し、HPやLINEから予約申込ができるようオンラインによる相談予約を開始しました。相談方法についても、窓口相談、電話相談、オンライン相談などを求職者が選択できるよう柔軟な対応に取り組みました。

【障害者雇用対策】

○障害者未達成企業に対する支援

障害者雇用に向けて採用前実習を行うことにより、採用後の定着も高まることから、面接前の実習面談会を行い、障害者雇用に結びつけることが出来ました。

【新規求人開拓】

○求人開拓班が1年以上前に求人提出のあった事業所や民間求人媒体を利用している事業所を選定し、職業相談部門職員が週1回以上同行し、事業所訪問する取組を実施しました。

【あいちマザーズハローワーク】

○あいちマザーズハローワークの利用勧奨を図るため、Webセミナーの開催やオンラインによるミニ面接会の実施など各種支援サービスをオンラインで対応しつつ、求職者ニーズに応じた対面支援を組み合わせ実施しました。

【企業支援部門】

○求人・求職のマッチング対策について

・職業選択のミスマッチを解消しキャリアチェンジを提案する取組として、適正検査（日本版0-net）、セミナー、企業面接会をセットにした

パッケージイベントを開催しました。参加対象者は事務職希望及び職種未定者を基本とし、事前に job tag の Web サイトで興味・価値観検査を自己診断したうえで、当日、診断結果を解説するセミナーの開催と診断結果に適応する企業との面接会を開催しました。

・未経験者を対象とした IT 系企業説明会を実施しました。開催方法として、当所会議室（参加企業 2 社の事業所担当者、名古屋中所の求職者）、事業所（就業場所）、ハローワーク桑名所会議室（桑名所求職者）の 3 ヶ所を中継し、オンラインを活用したハイブリッド方式で実施しました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

【求人部門の取組】

○求人者マイページの利用促進に向けた取組として、HP 等を活用し、企業が簡単に開設及び利用できるようフォームを構築し、利用率 80% 以上の目標達成に向けて取り組みました。

【わかものハローワークによる取組】

○「就活クラブ（6 日間開催）」の実施

就職活動に悩みを持つ仲間とともにグループワークなどを通じて、自信や意欲を高めるため、正社員就職に向けた就活セミナーを年 10 回開催（60 日間）し、延べ 519 名の参加がありました。

○「自己理解・仕事理解セミナー」の実施

就職活動に重要な自己理解と仕事理解を講義で学び「就活の軸」や「自分の強みを知る」ワークを体験するセミナーを年 9 回開催し、延べ 129 名の参加がありました。

○「就職活動基礎力 UP 講座」

就職活動に必要な知識やスキルを身につけるため、ハローワークでの就職活動の仕方や、応募書類作成などについて、知っておきたいポイントを解説する講座を年 9 回開催し、延べ 129 名の参加がありました。

【新卒応援ハローワークによる取組】

○「内定獲得ゼミ」の実施

「自己理解と仕事理解、面接に強くなる」セミナーと面接会をマッチさせた企画で未内定学生等に対し、2 日間のセミナーを年 2 回実施し、延べ 72 名の参加がありました。

○「面接対策講座」の実施

面接は第一印象が重要であるため、印象アップのポイントと効果的な伝え方のポイントを理解するセミナーを年 6 回実施し、延べ 84 名の参

加がありました。

【学卒部門による取組】

○「職業講話」の実施

学校訪問し、中学生、高校生を対象に職業について学ぶ講座を中学校は年 13 回、高校は年 51 回開催しました。

【外国人雇用サービスセンターによる取組】

○「企業向けセミナー」の実施

外国人の就職が低迷している中、外国人の雇用を検討したい企業向けのセミナー「外国人材の『力』」を開催しました。外国人材を雇用する時の注意点や在留資格について、すでに外国人材を雇用している企業の事例紹介等を参加企業 16 社に対して実施しました。

○「外国人留学生就職フェア」の実施

外国人留学生を対象に就職フェアを年 2 回開催し、企業は延べ 50 社、留学生は延べ 153 名の参加がありました。

【充足促進の取組】

○YouTube を活用した動画配信による求人充足支援（押しごと探検隊事業）を拡充し、事業所インタビューや就業場所の風景等、求人票では伝わらない情報を動画配信することで充足支援に取り組みました。また、取材した企業の注目ポイント等、求職者の関心のある情報をチラシとして作成し、求人票とセットにして提供しました。

○人手不足分野の魅力についても YouTube チャンネルで発信し、充足支援を行いました。

○面接会等のイベントを実施した際は、参加事業所のインタビュー等を含めた動画を作成し、YouTube で配信しています。YouTube 動画の配信は、イベント会場のリアルな雰囲気や様子を伝えることで視聴者に興味を持たせ、ハローワーク利用のない求職者に対する次回以降のイベント参加や窓口利用に繋げる工夫をしています。

【ハローワーク利用の周知、広報】

○名古屋中所 YouTube チャンネルを当所 HP に掲載し、SNS なども連動させることにより、視聴誘導を図り広報活動を強化しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

【新卒応援ハローワーク】

○大卒等未内定者が昨年度以上に見込まれることから、次年度における「ええがね」等の面接会において、開催直前に未内定者を中心に「内定獲得ゼミ」を開催し、一人でも多くの卒業生を就職出来るよう工夫します。

○各大学等との連携を密にし、更なる支援（O-NET 等）を活用した職業適性診断、相談、面トレ、応募書類添削、面接対策講座等を実施し、未

内定者の解消に努めます。

【わかものハローワーク】

○当施設の利用者拡大のため、SNSを含めた各種情報媒体の利用やキャラクターを活用し、若年求職者に対して、わかものHWへの関心を持ってもらえるよう工夫します。

○メンタル不調者が増加している中、専門的な対応が困難な状況ではありますが、雇用トータルサポーターや委託先の臨床心理士、なごやサポートセンターなど外部機関と連携して業務を推進してまいります。

【学卒部門】

○安定所と学校との連携強化を図るうえで、次年度においては、職業相談や職業講話を直接学校に出向くだけでなく、臨機応変にオンラインを活用し業務を推進してまいります。

【外国人雇用サービスセンター】

○来所者及び就職者数の低下が著しい中、必要とされる日本語能力の上昇が求められているため、当施設の利用案内を積極的に実施する必要があります。そこで、雇用保険手続きを行う等の一般窓口利用の外国人求職者に対し、フロア内に翻訳求人配架する等により、外国人専門窓口の周知を図ります。

○窓口で紹介する際に、外国人応募の可否を問い合わせ、積極的に外国人応募可能求人の開拓実施を行うとともに、各相談員等の求人開拓に対する目標管理を行います。

(4) その他業務運営についての分析等

○コロナの感染拡大防止策として、来所を要しない支援として、電話による相談・紹介やオンライン相談等を実施し、一定の成果があったものの、対面で把握する求職者状況や細かい意思疎通等が困難であり、準備時間や後処理に通常より時間を要するため、利用対象者の厳選や更なる職員の資質向上が必要であり、求職者マイページの利点を生かした支援を行います。

○雇用保険受給者における早期再就職支援について

雇用保険就職時期に差異があり、じっくり探す者が圧倒的に多いと感じられます。要因としては、引き続きコロナの影響があり、希望求人の減少やハローワーク支援サービスの周知不足、就職面接会や各種セミナー等の自粛なども早期再就職につながらない要因であるとも考えられるため、検証のうえ、適切な支援を実施します。

2 特記事項

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、社会全体に広がったデジタル活用が、従来からの窓口相談を中心とするハローワーク業務において、就職件数や紹介件数の減少につながっていると思われます。
- 新卒応援 HW・学卒部門・外センにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響下であったものの、下半期は未内定者のフォロー等で学校に向き支援を行いました。
- 令和4年度における評価結果につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響下での結果であることに留意が必要と思われます。

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	障害者の就 職件数	新卒者支援に 係る就職支援 ナビゲーター の支援による 新規卒業予定 者等(既卒者 含む)の正社 員就職件数	ハローワーク の職業紹介に より、正社員 に結びついた 就職氷河期世 代の不安定就 労者・無業者 の件数	ハローワーク の職業紹介に より、正社員 に結びついた フリーターの 件数	公的職業訓練 修了3か月後 の就職件数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援対 象者の就職率	人材不足分野 の就職件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
令和4年 度実績	6,969	10,872	2,863	88.2%	94.6%	1,055	4,806	817	1,018	661	94.1%	1,212	378
令和4年 度目標	7,319	10,906	2,811	90.0%	90.0%	998	4,662	820	953	624	94.0%	1,313	334
目標達成 率	95%	99%	102%	98%	105%	105%	103%	99%	106%	105%	100%	92%	113%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率